

① 子育てニーズの把握と切れ目ない支援のための体制強化

全ての子育て家庭に対して妊娠期から行政の専門職等が関わり、各家庭のニーズをもれなく把握するとともに、支援を切れ目なく行うための体制強化が必要

【検討の視点と整理の方向性(案)】 ※これまでの議論を踏まえた案

○ 地域で子育てニーズを的確に把握するための方策について

- ・ 母子健康手帳の交付時や各種健診、相談対応、サービス利用等の機会を通じた子育てニーズや課題の適切な把握

検討の視点	整理の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊婦健診の受診促進、未受診者対策 ・ サービスにつながらず孤立する家庭へのアプローチ ・ 虐待ハイリスク家庭の早期発見 ・ 妊婦全数面接による的確なニーズ把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当事者視点を踏まえた妊婦健康診査の受診促進 ・ 妊娠相談ほっとラインの普及啓発の強化 ・ 区市町村による子育て家庭向けの情報発信への支援(子供手帳モデルの活用) ・ 妊婦全数面接の取組支援(ゆりかご・とうきょう事業を活用した区市町村の取組事例の横展開等)

- ・ 妊娠期や出産後間もない時期のニーズ把握のための新たな方策等

検討の視点	整理の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 産婦健康診査の実施【緊急提言】 ・ 産後うつのある家族・親族への理解促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区市町村の産婦健康診査の取組を支援 ・ 妊婦全数面接の取組支援(再掲) ・ 産後うつの理解促進策(子供手帳モデルの活用等)

○ 妊娠期からの切れ目ない支援の方策について

- ・ 支援が必要な家庭に対するサービスの充実策について

検討の視点	整理の方向性
・産後ケアの充実【緊急提言】	・区市町村の産後ケアの取組支援を拡大

- ・ 切れ目ない支援のための関係機関の連携について

検討の視点	整理の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 予期しない妊娠に対する支援 ・ 里帰り出産に対する切れ目ない支援 ・ 虐待ハイリスク家庭に対する支援 ・ 医療機関と連携した支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談機関と医療・保健との連携強化(参考:多摩市要対協「特定妊婦支援チーム」) ・ 妊婦全数面接により把握したニーズ等の情報を活用した連携 ・ 里帰り出産に係る情報の把握(妊娠期の面接シートに出産予定先情報の記入欄を追加する等の工夫) ・ 支援プランの見直しの際(主たる支援者が変更する場合等)における切れ目ない支援 ・ 死亡事例検証結果及びそれを踏まえた取組例の共有

○ 体制強化の方策(人員体制や人材育成策等)について

- ・ 精神疾患や産後うつへの対応の強化

検討の視点	整理の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠期からの切れ目ない支援のための人員体制の強化 ・ 母子保健業務に従事する専門職等のスキルアップ ・ 医療機関における産後うつ等への対応の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 精神疾患や産後うつに対応するための専門人材の活用 ・ 母子保健従事者向けの研修(専門性、多職種連携、アセスメント手法、カンファレンスの仕方等) ・ 医療機関従事者向けの研修(産後うつ等への対応等) ・ ゆりかご・とうきょう事業を活用した区市町村の取組の効果検証

○ 母子保健施策と他分野の施策(子育て支援や障害児支援)の連携(※)について

※ 改正母子保健法を踏まえた児童虐待の発生予防・早期発見の取組についての視点を含む

検討の視点	整理の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各分野の支援機関間の連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区市町村における要保護児童対策地域協議会や自立支援協議会の活用 ・ 妊娠期から把握した情報を共有するための仕組みやツール等